

関節痛・神経痛・リウマチ



痛みは体に起こった異常や異変を私達に教えてくれる大事なサインです
しかし、この痛みも続けばストレスになり、日常生活に支障をきたしてしまいます。
そこで痛みを引き起こす病気の症状と原因についてお話します

【神経痛】神経痛は末梢の神経に沿って激しい痛み・冷え・熱感を感じる病気で、次の3つが代表的です

●坐骨神経痛●腰から下・お尻・太ももの裏側、ひざの裏までの知覚を支配しています。この神経が圧迫されると、片側のお尻や太ももの裏側、ふくらはぎやかかとまで痛むことがあります

(原因) 椎間板ヘルニア・脊柱管狭窄・すべり症などの腰椎の病気や、子宮筋腫・膀胱がん・直腸がんなどでも坐骨神経が圧迫され痛みをとまいません。

●肋間神経痛●肋間神経は肋骨に沿って分布しています。深呼吸や咳・くしゃみ等で、通常は片側の肋骨に激しい痛みが出ます

(原因) 帯状疱疹・胸膜炎・肺炎等が原因になることが多い病気です

●三叉神経痛●顔の感覚を支配している神経で、会話・洗顔・冷風などの刺激によって激しい痛みを感じます。

(原因) 血管による神経の圧迫が原因で、他には腫瘍による圧迫、帯状疱疹のウイルス等によって神経が障害を受けることで起こります。

【リウマチ】関節痛の病気を広く呼ぶ呼称で、関節リウマチ・変形性関節症・痛風等も含まれます

●関節リウマチ●骨と骨の継ぎ目は滑膜という膜で覆われています。この滑膜に炎症が起きる病気です
初期症状は手のこわばりで、朝起きた時に手や指が動かしにくいと感じます。また炎症が続くと関節の変形から激しい痛みを生じます。

(原因) ウイルスや病原菌から守る『免疫』の機能が自らを攻撃してしまいます。免疫異常が起こる原因はわかっていますが、女性に多い病気なので女性ホルモンが関係していると考えられています。

●変形性関節症●股関節・膝等の軟骨がすり減る病気で、運動時の痛みや関節の腫れ・変形が表れます。

(原因) 中年期以降に多くみられ、肥満や無理な運動や仕事の負担、老化現象などが絡み合っています。

●痛風●血液中の尿酸が過剰になり、結晶化して関節にたまることで突然の腫れ・激痛が起こります

(原因) 尿酸のもととなるプリン体を多く含む食品(ビール・白子・レバー等)の摂りすぎが主な原因です。

漢方の話～痛みが起こる原因とは？～

漢方では、私たちの体に起こる痛みの原因は『気・血・水』という3つの要素が関係していると考えます。
この3つの要素が体を滞りなく巡っていると、健康な状態を保てますが、どれか一つでも要素が乱れバランスが崩れると体に痛みというサインを出すと考えます。

痛みはどこが乱れているのか？

痛みの原因となる『気・血・水』を詳しく見てみましょう。

『気の流れ』●精神面や自律神経のバランスが乱れることで痛みを感じやすくなります

『血の流れ』●血行やホルモンにあたる血の流れが乱れると、栄養が体全体に行きわたらず、代謝が滞り発痛物質ができやすくなります。

『水の流れ』●体内に不要な水分が存在すると神経痛を引き起こしやすくなります。

●当店には痛みを和らげる漢方薬『ロイルック』があります。気(神経の働き)、血(血行・ホルモン)水(水分代謝)の乱れを整えて、痛みを根本から治します。